



## NICライブラリー特別企画「絵本のひろば」 ～えんどうまめとおひめさま～

新型コロナウイルス感染拡大防止のため2年ぶりの開催となった「絵本のひろば」。7月31日(日)に愛知県芸術劇場との共催で行いました。

当日は、北欧ノルウェーからやってきた“キング”ニルスと“プリンセス”イセリンのお二人をNICライブラリーにお迎えしました。アンデルセン童話「えんどうまめの上のおひめさま」のノルウェー語と日本語による読み聞かせやノルウェーの文化紹介のほか、歌や踊りのパフォーマンスを親子で楽しみました。



▲ノルウェーからやってきた“キング”ニルスと“プリンセス”イセリン



▲パフォーマンスを楽しむ子どもたち

童話は、本物のお姫さまを探す王様の物語です。“キング”ニルスは、子どもたちと一緒に考えながら、ついに本物の“プリンセス”イセリンを見つけ出すことができました。

さて、どうやって？ その答えは絵本の中にあります。NICライブラリーで絵本(英語版)を手にとって、ぜひ答えを見つけ出してください！

「絵本のひろば」は、絵本を通じて、これからも様々な言語や文化に触れられる機会をお届けいたします。

「絵本のひろば」は、絵本を通じて、これからも様々な言語や文化に触れられる機会をお届けいたします。



## 留学生の日本文化体験 ～初体験！浴衣の着付けに挑戦しました！～

名古屋経済大学経営学部経営学科3年生

シュリシュ ナビンさん(ネパール出身)

नमस्ते, फेरि भेटौला! धन्यवाद!  
こんにちは。また会いましょう。ありがとうございます。  
(ネパール語)



6月11日、国際留学生会館(以下「ISC」)で「ゆかた着付け体験会」が行われ、留学生など19名が参加しました。これまで女子学生だけの体験会でしたが、今年度から男子学生にも参加対象を広げ、開催されました。ネパール出身のナビンさんに参加した感想を伺いました。

私は2018年来日し、2020年4月に現在の大学に入学。ISCには今年の3月から暮らしています。大学でISCの入居案内を目にし、勉強に集中できる住居環境と日本文化に触れられる豊富な機会に魅力を感じ、入居を決めました。



▲当日の参加者(最後列右端がナビンさん)

今回の体験会で、生まれて初めて浴衣を着ました。印象的だったのは、浴衣を着る前にタオルをお腹の周りに巻いて、身体がとても温まり気持ちよかったこと。そして帯の結び方が想像以上に難しかったけれど、締めた瞬間に気持ちまで引き締まったこと。

参加した男子学生は私を含め9名でした。先生の指導を受けつつ、それぞれの着こなしをお互いに観察し、みんなで和気あいあいと話をしながらの着付けは、和やかな雰囲気の中で進み、とても満足できました。また、歩き方や座り方の作法も学び、日本人が古くから大切にしてきた伝統文化に触れる貴重な時間となりました。

一時帰国の機会があれば、母国の家族に私の浴衣姿を披露して、日本文化の美しさを伝えてみたいと思います。



▲着付けの指導を受ける(左端がナビンさん)

### 国際留学生会館とは…

NICが2001年から管理・運営している、留学生専用の宿泊施設(名古屋港区)。居室90室のほか研修室や和室、体育室などを備え、100名の留学生が生活できる。日本文化理解講座の開催や各種相談・情報提供、地域住民との交流などを行っている。



特に目的があるわけではないけど、ぶらっと来てみたら、気になることに当たる場所。このコーナーでは毎回、NICライブラリーを紹介します。

## 「物語」たちがおしえてくれる、「難民」のストーリー

あなたにとって、大事なものはなんですか。心地よく感じる場所がありますか。国籍、民族、文化、宗教や生まれた場所に関係なく、人には誰でも大事なものや心地よい場所があり、それらは守られるべきものではないでしょうか。

シリアの11歳、アーヤ。彼女の大事なものはバレエ、そして家族と暮らす生活でした。その穏やかな日常は、ある日の爆撃によって一変します。一家は内戦を逃れるため、トルコを経由してイギリスへ。ただ一足のバレエシューズをリュックの底にしのばせたアーヤをいったいどんな運命が待ち受けているのでしょうか(図書①)。

今日、「難民」を巡る様々なメディア報道により、その存在を知る機会が増えています。ウクライナからの避難民がクローズアップされていますが、世界に広く目を向ければ、特定の国だけに集中して難民が存在するのではないことがわかります。

現在、難民は世界中に約1億人。一人ひとりの人生を一冊の本に例えたとするならば、そこには1億冊の難民の「物語」がひっそりと紡がれているのです。まだ終章の見えない彼らの「物語」の一冊を手に取り、まずは読み始めることで、彼らが置かれている状況に思いを巡らし、私たちができることを見い出せるかもしれません。



### おすすめ図書

- ① シリアからきたバレリーナ (偕成社)
- ② ようこそ、難民！ 100万人の難民がやってきたドイツで起こったこと (合同出版)
- ③ こんぼるいろ、彼方 (小学館)



### NICの

多言語スタッフに聞いてみました

## 好きな日本語、面白い日本語!

NICではさまざまな国・地域出身のスタッフが働いています。今回は「言葉」をテーマに、彼らが日本語のどんなところに面白みや魅力を感じているのか聞いてみました!



### 言葉が好き!

#### 木漏れ日

この言葉を知って初めて「木漏れ日」という景色を知った。景色を思い浮かべさせる魅力的な言葉。

#### 一期一会

茶道の先生が教えてくれて、意味に共感!ベトナムにはない表現。

#### すみません

謝るとき以外にも使える便利な言葉!

### 響きが好き!

#### 「にゃ」「にゅ」「にょ」

「ふにゃふにゃ」「にゃーにゃー」「にょるにょる」などの音(拗音)がカワイイ!中国語にはない音。

#### 「ふむふむ」「ほうほう」「おやおや」

相づちの言葉が面白い!最初は何を意味しているのか、さっぱりわからなかったけれど…。

これらのコメントから、彼らの国や地域にはない言葉や表現に、私たちも新鮮な気づきを感じますね。

### 不思議な言葉…

#### 「シクシク」「ズキズキ」「ずーんと」

「痛み」を表すたくさんのオノマトペ。どのように使い分けるのか戸惑いも…

#### 青?緑?

色を表す言葉。緑色の「青信号」など、実際の色とは違う!

#### 借りる?返す?

トイレを「借りる」!? 返す当てはあるの…?